

## 熱々コーヒー 患者安らぎ

県立中央病院 緩和ケア病棟 ボランティア活動再開

県立中央病院は29日、新型コロナウイルスの感染が拡大した昨春から中断していた緩和ケア病棟でのボラ

ンティア活動を再開した。感染状況が落ち着いたことを踏まえた対応で、参加した3人が患者に熱々のコー



コーヒーを準備する瀬戸さん(左)たちボランティア＝県立中央病院

ヒーを用意し、ほっとできるひとときを提供した。

活動には、家族を緩和ケア病棟で看取った人ら約10人が参加している。コーヒーの提供に加えイベントを開いたり、患者家族の相談に乗ったりしてきたが、感染が拡大した昨年3月に活動をストップしていた。

この日はボランティアの瀬戸健治さん(83)ら3人が、コーヒーカップとソーサーを棚から約1年9カ月ぶりに取り出し、丁寧にコーヒーを注いだ。感染対策のため、看護師が各部屋に運んだ。

同病院は昨年4月から2カ月間、同病棟を新型コロナウイルス患者用に転用するため一時閉鎖した。同6月に復活し、現在は18人が入院し

ているが、感染対策のため面会は原則禁止となっている。患者らは「久しぶりにおいしいコーヒーが飲めた」などと喜んでいたり。

瀬戸さんは「やっと再開でき、張り切って臨んだ。患者さんの心の安らぎになれたらうれしい」と笑顔を見せた。今後は、感染状況を見ながら週1回のペースで活動するという。